

議会だより

53号

2013年3月定例議会

題字：宮城 陽平（古堅小学校六年生）

議員一般質問（18名）…………… 8

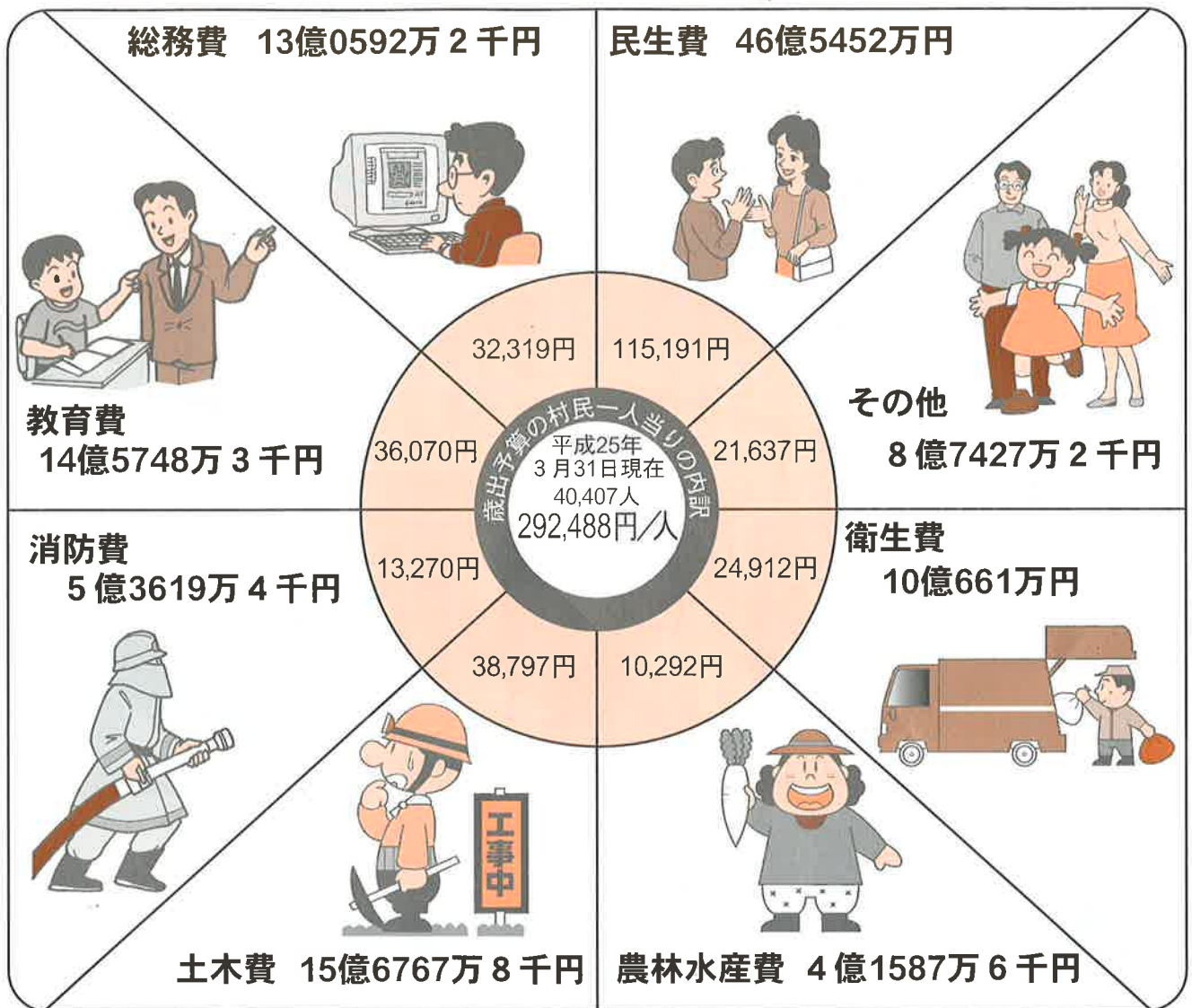


紅イモそばで おいしい、おいしい給食！

(写真提供：琉球新報)

平成25年度 一般会計予算 (歳出目的別の内訳)

予算額 118億1855万5千円



特別会計予算認定

平成25年度読谷村診療所特別会計予算 **2億5251万6千円**

平成25年度読谷村国民健康保険特別会計予算 **53億5323万円**

平成25年度読谷村後期高齢者医療特別会計予算 **3億3638万4千円**

平成25年度読谷村下水道事業特別会計予算 **4億6722万7千円**

平成25年度読谷村水道事業会計予算 **10億5802万7千円**

平成25年度主な事業内容



村民の意見を聞く(ゆんたく会議)



新体制で取り組む観光協会

公園のバリアフリー化



(都市公園安全安心事業)

今年度予定箇所

- ◎宇座東公園
- ◎高志保公園
- ◎井之原公園
- ◎楚辺公園
- ◎楚辺東公園
- ◎観音堂公園
- ◎座喜味城跡公園
- ◎残波岬公園



定員増になってにぎやかになった幼稚園預り保育

就職相談の充実
(グッジョブサポート読谷)

今すぐ就職したいあなたに!

グジョブ・サポート・読谷
就職塾

開催日: 6/26(水)・27(木)・28(金) (3日間)
【対象】就職活動中の方、【全ての年齢の方】が対象です!
【場所】読谷村役場 2階会議室
【時間】13:30~16:30
【定員】10名
【受講料】無料

受講生募集中!

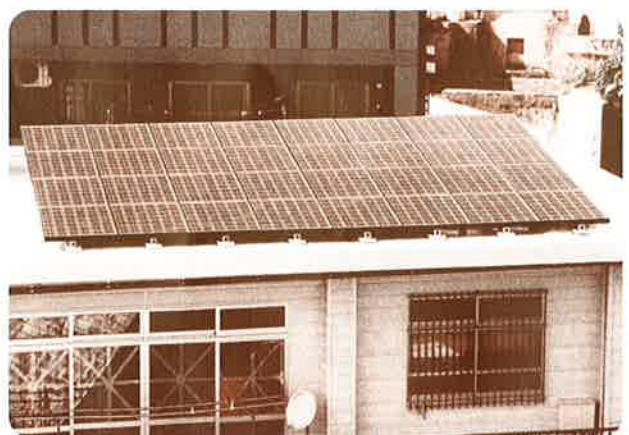
今年就職を希望している求職者の方を応援するセミナーです。
就職活動を行うにあたってのノウハウを学ぶ、
面接の準備を支援していただいた後は、
職員による個別支援を受けたい方があります。
あなたにあった今後の方向性を見つけよう
ませんか?

【セミナー内容】	
<ul style="list-style-type: none"> ① 就職活動の準備 ② 面接の準備 ③ 面接の練習 ④ 面接の質問 ⑤ 面接の服装 ⑥ 面接の挨拶 ⑦ 面接の態度 ⑧ 面接の言葉遣い ⑨ 面接の質問 ⑩ 面接の準備 	<ul style="list-style-type: none"> ⑪ 面接の準備 ⑫ 面接の準備 ⑬ 面接の準備 ⑭ 面接の準備 ⑮ 面接の準備 ⑯ 面接の準備 ⑰ 面接の準備 ⑱ 面接の準備 ⑲ 面接の準備 ⑳ 面接の準備

※当日までのセミナー受講は先着順による就職活動の支援になります。

グッジョブ・サポート・読谷 (読谷村役場商工課課)

【問合せ】 TEL: 098-982-9216 (平日 10:00~17:00)



クリーンエネルギー
太陽光発電システムの設置事業
(庁舎屋上に設置予定 20kw)

平成25年 第416～418回 臨時・定例会 議決結果賛否一覧表

件 名	議決結果	議席																	
		1 氏名 知花徳栄	2 比嘉郁也	3 仲宗根盛良	4 伊波篤	5 富山勝吉	6 大城行治	7 富間良史	8 上地利枝子	9 山城正輝	10 城間勇	11 嘉手苧林春	12 津波古菊江	13 山内政徳	14 長浜宗則	15 照屋清秀	16 上地栄	17 伊佐眞武	18 國吉雅和 新垣修幸
第 416 回 臨 時 議 会																			
平成24年度読谷村一般会計補正予算（第7号）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
読谷村附属機関に関する条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
物品供給（読谷村防災行政無線移動局機器購入）契約について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
物品供給（情報中継車整備事業）契約について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度スポーツコンベンション誘致促進事業 残波岬いこいの広場グラウンド機能強化工事請負 契約について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度村道中央残波線整備工事請負契約の 変更について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
読谷村議会会議規則の一部を改正する規則	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
読谷村議会委員会条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
読谷村議会基本条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
読谷村議政務調査費の交付に関する条例の一部 を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
沖縄県後期高齢者医療広域連合の議会議員の選挙	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第 417 回 臨 時 議 会																			
平成24年度読谷村一般会計補正予算（第8号）	可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
米軍嘉手納基地への特殊作戦用離着陸輸送機CV- 22オスプレイ配備に断固反対する意見書	可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
米軍嘉手納基地への特殊作戦用離着陸輸送機CV- 22オスプレイ配備に断固反対する抗議決議	可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
米軍嘉手納基地へのステルス戦闘機F-22Aラプタ ー配備に対する意見書	可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
米軍嘉手納基地へのステルス戦闘機F-22Aラプタ ー配備に対する抗議決議	可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第 418 回 定 例 議 会																			
平成24年度読谷村一般会計補正予算（第9号）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度読谷村診療所特別会計補正予算（第4号）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度読谷村国民健康保険特別会計補正予算 （第2号）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度読谷村後期高齢者医療特別会計補正予 算（第3号）	可	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	
平成24年度読谷村下水道事業特別会計補正予算 （第3号）	可	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	
平成25年度読谷村一般会計予算	可	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	
平成25年度読谷村診療所特別会計予算	可	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	
平成25年度読谷村国民健康保険特別会計予算	可	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	
平成25年度読谷村後期高齢者医療特別会計予算	可	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	
平成25年度読谷村下水道事業特別会計予算	可	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	
平成25年度読谷村水道事業会計予算	可	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	
読谷村一般職員の給与に関する条例等の一部を改 正する条例	可	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	
政治倫理の確立のための読谷村長の資産等の公開 に関する条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	

5 読谷村議会 だより

平成25年 第416～418回 臨時・定例会 議決結果賛否一覧表

件名	議決結果	議席																			
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18		
	氏名	知花徳栄	比嘉郁也	仲宗根盛良	伊波勝篤	當山行治	大城良史	當間利枝子	上地正輝	山城勇	城間林春	嘉手苧江	津波古菊	山内政徳	長浜宗則	照屋清秀	上地栄	伊佐眞武	國吉雅和	新垣修幸	
第418回定例議会																					
読谷村村道の構造の技術的基準等を定める条例	可	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	
読谷村営住宅等の整備基準に関する条例	可	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	
読谷村営住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	
読谷村公共下水道及び都市下水路の構造の技術上の基準等に関する条例	可	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	
読谷村都市公園条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	
読谷村農村公園等設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	
読谷村附属機関に関する条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	
読谷村新型インフルエンザ等対策本部条例	可	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	
読谷村草木資源化施設の設置及び管理に関する条例	可	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	
読谷村体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	
中部広域市町村圏事務組合の共同処理する事務の変更及びこれに伴う規約の変更について	可	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	
沖縄県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	可	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	
沖縄県介護保険広域連合規約の変更に関する協議について	可	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	
村道伊良皆波平線の路線変更について	可	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	
指定管理者の指定(読谷村残波岬こいの広場)について	可	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	
固定資産評価審査委員会委員の選任(新城正雄氏)について	同意	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	
固定資産評価審査委員会委員の選任(比嘉寛氏)について	同意	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	
教育委員会委員の任命(松田平次氏)について	同意	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	
教育委員会委員の任命(比嘉宏氏)について	同意	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	
「屋良朝苗顕彰事業」について	採択	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	
公共工事発注に際しての事業用自動車(緑ナンバー)使用に関する陳情	一部採択	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	
読谷村字波平2333番他7筆の宅地造成開発地域と接続道路として村有地の使用に関する陳情書	継続	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	
民間戦争被害者を救済する「新たな援護法」の制定を求める意見書	可	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	
地方財政の充実・強化を求める意見書	可	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	
TPP交渉への参加反対に関する意見書	可	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	
「生活保護基準の引き下げはしないこと」を国に求める意見書	可	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	欠	-	-	○	○	○	○	
政府による4月28日の「主権回復の日」式典開催に対する意見書	可	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	
報 告																					
専決処分の報告(平成24年度読谷村通信所周辺復帰先地公共施設整備工事請負契約の変更)について																					
専決処分の報告(読谷西部地区公園整備工事請負契約の変更)について																					
平成23年度読谷村教育委員会事務点検・評価の報告について																					
閉会中の継続審査申出について 文教厚生常任委員会 ・平成24年陳情第6号(平成25年度幼稚園就園奨励費補助金に関する陳情書)について	決																				
閉会中の継続調査申出について 総務常任委員会 ①村税の徴収実績と体制強化について ②投票事務システムについて 文教厚生常任委員会 ①幼稚園預かり保育定員増に伴う現状調査 ②子育て支援センターの現状調査 建設経済常任委員会 ①本村の農業振興地域について ②シルバー人材センターの意義の調査	決	※議案賛成者は○とし、反対者は×とします。退席者は－、欠席者は欠としています。 議長は採決に加わらないため、斜線としています。法律により、採決に加われない議案については、除と表現しています。																			

政策提起に対する取り組み状況

1. 鳳バスの運行については、住民の要望も反映できるよう運行ルートの見直しを行うこと。

取り組み状況

- *平成24年度中に2回読谷村地域公共交通会議を開催した。
- *北ルートにおいては、役場から県道6号線の大当を通過することとした。
- *東西ルートと南ルートを一つにし、正方向と逆方向の新たな東西・南ルートを開設する。
- *海岸ルートは当面運行を休止し、平日便は北ルート、東西・南ルートとして運行し、土日祝日便は南北ルートの新ルートを開設する。
- *路線変更については、沖縄バス会社と総合事務局で協議中である。



2. 渡慶次小学校前の通学路については、地域住民の意見とかい離があり、安全対策の面からガードレールの設置で歩道の確保、一方通行等の対策など意見交換の場を設定すること。

取り組み状況

- *平成25年1月30日（水）15：00から関係課会議を開催した。
- *総務課は、3月1日（金）に一方通行について渡慶次小学校校区の区長、高志保区長及び嘉手納警察署を含めた会議を開催した。区長の意見は、一方通行で生活が制限されるため地域住民のコンセンサスは得られないと結論づけた。
- *土木建設課は、歩道設置について幅員等現場調査を行うことになっているが、これからの対応となる。
- *教育委員会は、電柱に注意喚起の看板及び車輛による児童の送迎について、学校とルールづくりを行うこととしているが、これからの取り組みとなる。



3. 渡慶次、古堅学校給食センター化については、情報を関係者等に公開すること。

取り組み状況

- *平成24年度に基本計画書を作成済みである。
- *時期を捉え関係者へ説明会を実施していく。

4. 一括交付金については、村民の要望等も反映できるような場を設定すること。

取り組み状況

- *各種団体に所属する者については、団体長を通じて意見を反映させる。
- *現在までに23団体への説明会を終えたところである。
- *個人の意見については、仕組みを検討中である。
- *ハワイへの波平区棒術派遣については、一括交付金で申請中である。



5. 楚辺座喜味線は、役場まで暫定的に開通しているが、歩道も簡易舗装をすること。

取り組み状況

- *平成25年3月にプライマー（コーラタール）は実施済みである。

抗議決議・意見書

米軍嘉手納基地への特殊作戦用離着陸輸送機CV-22オスプレイ配備に断固反対する意見書・抗議決議

可決

- 1、米軍嘉手納基地への特殊作戦用離着陸輸送機CV-22オスプレイ配備計画を断念させること。
- 2、米軍普天間飛行場の垂直離着陸輸送機MV-22オスプレイを即時撤去させること。

米軍嘉手納基地へのステルス戦闘機F-22Aラプター配備に対する意見書・抗議決議

可決

- 1、ステルス戦闘機F-22Aラプターの訓練を中止させること。
- 2、外来機の飛行は、いかなる理由があるにせよ中止させること。
- 3、これ以上の基地機能強化に断固反対し、嘉手納基地の整理縮小・撤去すること。

民間戦争被害者を救済する「新たな援護法」の制定を求める意見書

可決

アジア太平洋戦争の「沖縄戦」における一般民間戦争被害者のうち戦傷病者戦没者遺族等援護法により援護された被害者以外の数多くの未補償の被害者（死没者の場合はその遺族）に対して国の責任において援護措置を決定し、相当の援護金等を支給する「新たな援護法」を制定することを要請致します。

「生活保護基準の引き下げはしないこと」を国に求める意見書

可決

生活保護基準の引き下げは、利用している人たちの暮らしをより一層大変にし、最低賃金や年金、就学援助など各種制度に影響します。

国民生活の最低保障基準の土台をなす生活保護制度は国が責任を持って保障すべき。

政府による4月28日の「主権回復の日」式典開催に対する意見書

可決

沖縄、奄美、小笠原諸島が日本から切り離され、米国による異民族支配が始まった4月28日をわれわれ県民は「屈辱の日」として語り継いできた。

政府が沖縄の歴史を直視せず、今頃になって「主権回復」をことほぐるのは、県民を更に愚弄するものであり、断じて容認できない。

地方財政の充実・強化を求める意見書

可決

T P P交渉への参加反対に関する意見書

可決

- 1、拙速なT P P交渉参加表明を直ちに撤回すること
- 2、自民党が政権公約で示したT P Pに関する6項目の判断基準を堅持すること
- 3、徹底した情報開示と広範な国民的議論を実施すること



もっと村民に利用される運営を



上地 榮

一 コミュニティバスの運営状況と改善策について問う。

問 平成24年度の三月段階の収支の状況は。

答 平成25年2月末までの収支状況は、運賃収入が約250万円、支出額は燃料費が約288万円、委託料が200万円、収入率は約11%になっている。

二 道路網計画調査からわかる県道6号線の混雑度と今後の解消率について問う。

答 楚辺から古堅小学校前の混雑度は現在、通常より1.55倍から3.27倍と激しい混雑状況にある。国道バイパスはじめ村道中央残波線等将来の道路網の完了により約60%混雑度の解消を見込んでいる。

三 自治会への加入率の低下に伴い地域の教育力低下が懸念される。そこで次の質問を行う。

問 平成24年度の現段階の乗客数と乗車率は。
答 平成25年2月末までに約2万400人が乗車している。乗車率は北ルートが13%、南ルートが11%、東西ルートが5%、海岸ルートが2%となっている。

問 各学校の保護者の自治会への加入率は。
答 掌握していないとの報告を受けている。

問 赤字経営を改善する方策は。
答 ルートの見直しや定期券を安くして乗車率を高めたい。

問 各自治会における子ども会活動、学事奨励会、教育隣組の活動はどうか。
答 読谷村子ども育成連絡協議会に加入しているのは14地域、学事奨励会を実施しているのは10カ所である。教育隣組は発展的に現在の子ども会に移行している。

四 トリイ通信施設内農業用水源地楚辺クラガーへの電気供給について、現状はどうなっているか

答 平成23年9月20日に楚辺区より要請を受け、同年9月24日に基地司令官より

基地運用により許可したい旨の回答を受けた。その発言を受けて、今後支援を行うてまいりたい。

問 六月には基地司令官の交替もあり、早めに取り組んでいただきたい。
答 近いうちにもう一回協議する。又、村長からも司令官に直接申し入れをする。

五 本村の雇用対策について、次の質問をする。

問 ゲッジョブサポート・読谷の実績と課題は。
答 平成24年8月に開設し毎週月曜日、木曜日に就労・面接相談や各種セミナーを実施してきた。実績として相談人数106人、就活応援セミナー73人、講座8人となっている。今後は相談窓口の開設日数をふやすこと、就職斡旋業務の検討、追跡調査の実施、相談場所の移動等の課題などがあります。

問 学校給食の安全から、



長浜 宗則

1、学校給食におけるアレルギー対策
答 対応に当たっては医師の証明の証明・指示に基づき、個々の児童・生徒の症状及び給食施設の諸条件等を勘案して、教育委員会が判断・決定しております。

問 AEDの設置から

1、25年度各公民館に設置の計画予定と伺いましたが
答 区長会のほうにもなるべく早く予算化をしよう。なお答えはしてあります。平成25年度当初予算のほうでも検討をしておりますが、予算化に至らなかったため、引き続き予算化にむけて検討したい。

問 読谷村の村道から

1、大木く古堅線の舗装工事計画は
答 昭和57年に供用開始され30年経過しており、これまで上下水道の敷設による舗装の切り込みや年数の経過による舗装面の劣化等、かなり粗悪な路面の状況である。平成25年度に予定されている道路ストック総点

2、村内のアレルギーの児童・生徒の実態は
答 小中校で29名
3、東京調布市の事故で読谷村対応は、
答 小中校では、年度初め

◎弁当の持参をみとめる。
◎除去食を提供する。
◎牛乳のみ停止、医師の検診に基づき明かに牛乳アレルギーと判断された場合は、牛乳を個別に停止する。





嘉手納町と読谷村を結ぶ『栄橋』の復興を！

検事業で方向性を示し具体的に検討する。
2、嘉手納高校側から牧原線につなぐ旧栄橋の復興建設は、
答 栄橋は嘉手納高校の向かいから読谷の牧原から屋良のほうに架かっていた橋で昭和5年から6年にかけて建設され昭和20年の日本軍の南部へ引き上げる際に爆破して、橋の中央部は破損したままで、一部橋桁が残っている、歴史的建造物である。復興建設につきましては現在ところ予定はありません。

問 火葬場建設から

1、具体的な実施計画は

答 平成25年度に都市計画法による諸手続きを行い工事着手にむけて実施計画を予定している。
2、総建設費、並びにランニングコストは、

答 基本設計における現時点の総建設費は、概算で約7億7810万3千円、ランニングコストは他市村の類似施設を参考にして、年間約1,320万6千円を想定している。

3、過去に読谷村、嘉手納町、北谷町の比謝川行政組合でも取り組んだ経緯があったと思われるが読谷村が単独事業になった経緯は、

答 北谷、嘉手納、読谷と一緒につくりようという話しはした。場所は読谷村しかないという話では始まらないと話した、比謝川行政組合のなかで主体的に取り組んだらどうかというところはあったんですけども、結果としてそこまでは持っていけなくて、単独になった。



伊波 篤

「一括交付金について」

問 平成25年度の事業採択で村民の声、民間のアイデアを反映させる取り組みが必要と考えるが意見を伺う。

答 各事業担当課においては、はみずから事業の立案を行うとともに、関係する団体等から事業計画の提案を受ける体制を整え、意見交換を行うっており、現在各種団体において、アイデアの検討をしていただいている。御指摘の件については、当然たくさん御意見を伺いたいので、前向きに考えていきたいと思えます。

「ごみ減量について」

問 分別の種類を増やす取

り組みは必要だと考えるが、分別の種類を増やす取り組みは必要不可欠であり、ます。検討中ではありますが、瓶類の三種分別を美化センターや嘉手納町と協議を行っており、また廃食用油の回収は公民館を拠点として行っておりますが、さらに種類を増やすことができないか協議をしております。ごみ減量の取り組みとして、村民へ理解を深めるためわかりやすい冊子の作成等に努めてまいります。さらに区長の皆さんと協議をしたというのが古布の回収です。戸別収集ではなく、拠点回収ができないか検討をしていきたい。

「村民の健康増進の取り組みについて」

問 生涯スポーツ社会の実



村民参加型イベント チャレンジデー

現と村民の健康増進の取り組みとして、壮年スポーツデーを設定し、スポーツ大会を開催できないか。
答 生涯学習課で催し物をするサークル、講座があるが、この世代が一番忙しい世代なのか参加率が少ない。多くの村民が参加できるように、なものを、生涯学習課のみならず健康づくりの担当課も一緒に考えているので、これから提起を受けていく。
答 ハローワークと一体に実施されるサービスであることから、本村への導入は難しいと考えている。しかし、同事業の趣旨については大いに参考になるもので関係課も含め協議を行いながら本村独自の施策の中で生かすことができないか検討してまいります。

「就職相談窓口について」

問 「グッジョブ・サポート・読谷」とあわせて「パーソナル・サポート・センター」の導入ができないか。

答 ハローワークと一体に実施されるサービスである



仲宗根盛良

一、オスプレイ配備撤回の東京行動について

問 東京政府要請行動について村長の所見とこれから課題を伺いたい。

答 今回の東京行動は、沖縄から復帰後最大の上京行動となり、課題は沖縄に対する本土の方々の間違いを正していく事が一番大切なことであると思います。

二、米空軍兵による住居侵入中学生傷害事件に対する政府直訴行動について

問 村民実行委員会による直訴行動の成果と課題を伺いたい。

答 要請団には青年の各層

が参加し、各省庁で多くの意見が述べられた事は大きな成果である。事件・事故をなくして行く為には、持続的な、運動の必要性を痛感した。

問 日米地位協定の改定に向けてどのような運動を計画されているか。

答 県及び軍転協と共に、国民的な議論が深まるよう、あらゆる機会を通して効果的な取り組みをする。



外務省で抗議をする村長

三、定年職員の再任用制度について

問 年金支給制度の引き上

げに伴い、民間や国においても再雇用制度が進められている。本村としての対応策を伺いたい。

問 「読谷村の先人たちの有効活用について

小学校低学年用として絵本などに再製本し、活用する方策はないか。

答 低学年用として編集が可能かどうか関係者と協議をしたい。

問 先人たちの実績を写真や動画に残し、DVDなどの活用の方策はないか。

答 DVDなどの活用についても関係者のご意見を伺って行きたい。

五、国からの職員等の給与削減要請について

答 平成25年度の中頃までに設定し、平成26年度からスタートの予定です。

問 国からの削減要請について基本的な見解と対応策について伺いたい。

問 過去六年間で行政改革の為に削減した職員数と総人件費はいくらか。

答 29人の職員を削減し、2億8942万円の人件費の削減に努力して来た。

問 本村は職員の定数が少ないと聞くが、その実態はどうなっているか。

答 本村は類似団体より58人も少ない状況です。

六、行政区改善の線引きについて

問 行政区改善の線引きの目標年度はいつを予定されているか。

答 平成25年度の中頃までに設定し、平成26年度からスタートの予定です。



照屋 清秀

一、読谷・嘉手納・北谷3町村で消防一部事務組合が平成14年結成され10年余経過

問 (d) 3分救急・5分救急とは

答 3分救急と心臓停止から3分以内で処置開始がない場合、心拍再開率50%。5分救急は5分以上経過すると、10%以下の心拍再開しか望めないとの国際的指標がある。

問 (a) 設立時の課題は。

答 出動件数増加傾向にあり、質の高いサービス提供、救急救命士の養成等単独消防で対応不十分。南部地域への支所設置の課題があった。

問 (b) 課題について解決できた事は。

答 組織面で職員増加による適正配置。南部地区管轄見直しによる出動体制強化による現場到着時間短縮。救命救急士の養成等職員の資質向上等

問 (c) 課題について未解決は。



ニライ消防読谷支所

問 一部消防事務組合にする事で経費削減が図られる効果があるとの事だったが。

答 財政的には平成14年度1億円増。平成23年度決算で建設負担金含め約5億4千万円余り増であるが投資効果と人命尊重する意味で、かなりの効果有りとの消防内評価と思う。

問 時系列で事故20年規制や誘導早期実現できるような検討が平成23年迄続き平成24年度で条例化を検討するところがあるか。

答 集落内墓地の移転希望や、将来造る公営墓地等の誘導する為の大きな規制する為には条例化必要。条例作る時に議論する。

二、問、墓地の在り方について平成19年度施政方針の中、区域の設定による規制や誘導策の検討する方針から6年余経過早急な対応が必要と思うか

三、平成25年度施政方針で事務事業評価制度導入に向け調査・検討引き続き行うとあるが何年実施予定か

答 各事務事業における活動指標設定、上位施策の整合等時間要する為、もう少し時間かかる。

答 平成19年県に墓地許可申請進達業務で墓地の誘導図る。平成23年権限移譲により、許可申請の相談等の段階で誘導行っている。公営墓地計画進めながら住宅地域への墓地の混在少なくとも対応している。



大城 行治

「グッジョブ・サポート・読谷」について

問 昨年、開設したが、その実績は。

答 この事業は、求職者や事業者向けの総合支援窓口として、毎週月曜日と木曜日に、就労・面接相談などを実施している189名の実績がある。

問 今後の運営はどう考えているのか。

答 商工会、あるいは民間のビジネススクールとも連携して取り組んでいきたい。また村内の大規模事業所等にも、行政側からも地元採用の働きかけを検討していきたい。

就職相談窓口「グッジョブサポート読谷」開設

月	火	水	木	金	土	日
○	○	○	○	○	○	○

※土曜日のみの相談は実施曜日における結果報告のみに限ります。

※お問い合わせ先：読谷村役場 就業支援課 TEL: 099-954-1111

「ヨミタン大学」について

問 24年度の開校学部の状況実績は。

答 「読谷学部」復帰に関する講座を5回開催、20人受講。「健康体育学部」貯筋運動のリーダー育成を目指し13回の講座を開催、28人受講。「農学部」山芋の栽培技術と地域コミュニティの連携強化を目指し、山芋スリーブ講習を実施、講座参加者70人。「観光学部」地域情報を広報するノウハウを学ぶ。講座を4回実施、35人の応募がある。

公営墓地の整備計画並びに墓地区域の規制や誘導について

問 読谷村の現状は。

答 公営墓地は親志砂良原地区の一区画を予定している。現在の墓地区域は「読谷村

をどのように運営していくのか。

答 まだ始まったばかりで、村民に対して周知が足りないかもしれない。そこで学んだ方々がその成果として地域で貢献したときにヨミタン大学というのは、見えてくるかもしれない。最終的な目標は地域づくりの担い手になってもらうことである。アカデミックな側面も含めて、また村民自らテーマを設定していただけるような大学にしていきたい。

問 条例化を進めるとあるが。

答 強い規制が伴うものと考えている。よって公営墓地の設置が重要である。その予定地には先行事業として火葬場の新築を予定している。その事業の完成後を予定している。

シルバー人材センターについて

問 読谷村でも、高齢者の生きがい、健康、社会参加という面からも設立すべきだと思いが、設立についてどう考えているのか。

答 今後高齢者の就労支援は取り組んでいきたい。シルバー人材センターの設立についても、そのことを念頭に検討したい。



国吉 雅和

一、平成二五年度施政方針から、

は、地域交付金の増額と健康づくりサーポーターの増員と未加入受診勧奨を図る。

③ 「さとつきび畑」の歌碑活用について

答 修学旅行や民泊の中・高校生・村内外の幼・中学校生の平和教育の場として活用。本年6月15日に鳳ホールにて一周年コンサートを実施します。

④ 職員派遣交流事業実施について

答 職員を一人一年間派遣し福井県大野市より一人受け入れ5年間の事業予定で、自治体間ネットワークの構築及び違う自治体の行政運営を学ぶ事により柔軟で視野の広い人材育成を行う。

⑤ 村観光協会の支援について

答 4月上旬の一般社団法人化に向け手続きを行っています。事務局体制の強化と自立に向けた観光関連商品等の開発の取り組みを支援

二、一括交付金制度導入元年を検証する

三、体罰の実態調査について

答 配分額7億5千万円の27事業は、観光振興事業(大型定置網漁船購入・残波岬サッカー場設置・平和の森野球場機能強化等)で約85%の金額です。村の負担分1億8千万円で執行率は92%です。新たに発生する維持管理費はサッカー場の550万円です。村民の意見・要望を反映させるため団体等への説明会や意見交換を行い一括交付金の趣旨に合致するか精査した上で事業に向けた調整を行う。

答 学校での体罰の実態を把握し、体罰の禁止の徹底を図る目的で実態はありません。

問 学校教育法における体罰の規定は

答 体罰は学校教育法11条(昭和22年)によって禁止されています。

問 「愛のムチ」について

答 如何なる理由であっても体罰は認められない。

問 教育長の見解は

答 体罰は子どもに人間不信を植えつけ、自発的な自己形成の機会を奪うものであり、一方的に害を与えるという行為は教師の指導力の貧困さを示すものです。



一括交付金を利用し購入した定置網漁船



伊佐 真武

一、読谷村障害者控除対象者認定事務について

事は手続き上可能か。
答 事務取扱要領に基づき毎年の申請を基本にしている。

問 埼玉県の深谷市、春日部市等で自動的に発行している実例がある。今後調査・検討してもらいたい。

二、無料・低額診療事業について

問 この認定書は、確定申告の際、年間所得の控除を受けるための認定書であり対象者は65歳以上の介護認定者にも範囲が広がっています。これまでの認定書発行の実績を伺います。

問 ①この事業についての意義を伺います。②村立診療所を持つ読谷村として、この事業を実施できないか

答 ①経済的な理由により適切な医療を受ける事ができない方を対象に、その負担を軽減し、生活保護制度の前段階にあるセーフティネットと言われ、大切な福祉事業と認識している。

答 申告時期には、広報よみたんと役場ホームページで周知していますが、平成20年度20人、平成21年度172人、平成22年度77人、平成23年度67人、平成24年度現在56人となっています。

問 平成21年度は対象者に直接ハガキの周知があり件数が増えたと思われる。一度認定された方に対しては自動的に認定書を発行する

②県社協、沖縄県からの情報収集と全国的な状況については厚生労働省による資料関係の収集に努力していきたい。

質

問

② 村民健康づくりの推進について

答 国保の療養給付費(医療費)は平成15年度28億2千万円(約18万円/ひとり)で、平成24年度36億1千万円(23万円/ひとり)28%増加です。成果は各種受診率の増加であり、国のペナルティ対象から外れた。対策



一括交付金を利用し購入した定置網漁船

自動的に認定書を発行する



三、住宅リフォーム助成制度について

問 この一年間の検討状況を伺います。

付金であり、要綱制定が5月にずれ込み、村民の御意見を伺う時間的余裕がなかった事から、役場内部において事業の選択を行い、県及び国と調整を行った。

②平成25年度に向けて村民の意見・要望を反映させるため昨年12月より、各事業担当課において所管する団体等への説明会、意見交換を行っているところである。

答 県内では5自治体で実施され、各市町村200万円から5千700万円の単独予算で、新たに嘱託職員などを採用し対応している。本村では、跡地利用整備など旺盛な財政需要がある中、予算確保執行体制等の課題がある。

問 実施している自治体では地域経済の活性化につながり、評価も高い。商工会や業者会とも意見交換をした方が良くはないか。

四、一括交付金について

問 ①平成24年度の事業採択の経緯はどうだったのか。

②平成25年度はどの様に村民の意見、要望を取り入れていく方針なのか。

答 ①全国でも初めての交



城間 勇

一 平成二十五年 度施政方針より

問 平成二十六年一月一日には、本村が人口日本一の村となります。まちづくり日本一に向けての抱負と、人口日本一の村記念事業の取りくみについて。

答 文化村としての誇りと村としての自信をもち、村にこだわり続け、読谷が読谷らしく、村民がいつまでも住み続けたいと言っているだけむらづくりに頑張っている。記念事業として、四つの事業を予定

問 本村においてワールド王修空手道古武道世界大会が開催されるとありますが、具体的な内容と取り組みについて。

答 平成二十五年八月十一日から十八日までの日程で

開催が予定、世界十四カ国から約四〇〇名の参加が見込まれております。座喜味城跡における空手、古武道セミナー、読谷中学校体育館における競技大会、文化センター鳳ホールにおける演武大会等が予定、八月十一日には、村主催の歓迎イベントを計画しております。

問 古堅南小学校区児童館建設事業の各年度の事業計画概要について。

答 平成二十五年に基本実施設計を行いまして、平成二十六年建設工事、平成二十七年開館を目指してまいります。

二 大湾東土地 画整理事業について。

問 現在、大湾東二号線道路整備工事がストップしておりますが、その理由と現在の状況等について。

答 現在は空洞対策や路盤の置換対策の工法が決定したので工事が再開される予定ですが、一部路線の道路

計画高さを変更したいとの要望があり、区画整理組合にて修正設計を実施、検討している状況

三 古堅地域、通 称サウスモーガン

マナー、旧外人住宅地域の住環境整備について。

平成十七年度と平成十九年度に道路概略設計を行っております。概略の図面を示してあるわけですから、それに基づいて再度、地域の皆さんが同意を取り付けて、また何らかのアプローチがあれば対応したいと思います。

四 ファミリーマート古堅店前の交差点への信号機設置の目処について。

答 引き続き設置に向けて嘉手納警察署と協議してまいります。



早急な整備が必要な古堅地域道路



津波古菊江

問一 鳳バスの平成25年度のルート見直しに利用者の声はどの様に反映されているのか伺う。

答 職員、バス運転手、バ社会社読谷出張所の所長との会議、何名かの区長からの聞き取り調査やデータ等からの分析で案を作り、17人の地域公共交通会議で検討

問 嘉手納高校390人の通学生への鳳バスの通学支援は新ルートに組まれているか。

答 国道58号から嘉手納バス停の間は路線バスと競合するので今回も組んでない。

問 牧原線を運行すると路線バスとの競合はないと思うが。

答 牧原線についての議論

はされていないが新ルートでは競合する大当路線が認められたが、新ルート再編の中での議論も国道58号から嘉手納バス停での調整をしており牧原線についての議論はされていないが、これから話し合う余地あり。

問 高齢者や車イス利用者の方々が利用しやすいバス停以外でも路線上の任意の位置でバスに乗り降り出来るフリー乗り降り制度の導入は可能か、利用者の自宅から近い路線上での乗り降りが出来て便利と思うが。

答 バス会社より交通の妨げとなり危険であるとの事で現在は取り入れてない。

問二 ファミリーサポートセンターが設置されるが運営方法、病児・病後児預かりについて伺う。

答 委託先は沖縄県労働者福祉基金協会で収益を目的としない事業展開をしている。

病児、病後児保育も軽度な病児の場合は実施したい。

問 準要保護世帯ひとり親世帯の病児預かりの場合の行政による預かり料の助成は可能か。

答 調査を行いつながら財源等の検討も合わせながら実施する方向で検討していく。

問三 わんぱく広場について。

答 実績で313回の5110人参加あり平成25年度も実施するが県から補助金のカットあり。

問四 児童館の設置について設置場所、開館時期、事業内容、南学童クラブの増員は可能か。

答 古堅公民館跡地の村有地に平成27年度開館を目標とする。子どもの安心な居場所の提供、子どもと保護者が交流できる場所、地域における子育て環境の向上を図る、南学童クラブも児童館内に

設置し図書室、トイレ等の経費の縮減に努める。学童クラブの増員は今後の検討事項とする。

問五 セーラ苑での告別式参列の際の夏の日差しや冬の寒さ、風対策の必要性が村民から云われているが、必要性について伺う。

答 必要性は感じている。建物の構造と日差し、雨風に對しての対応や対策工事に對する財源の確保も含め具体的な調査を実施する。



暑さや寒さ対策が望まれるセーラ苑ピロティ



山城 正輝

対 村民生活の多方面で負担増につながる生活保護基準の引き下げに反対すべき↓**村長**、**「反対」**

活保護費の基準額引き下げには、色んな立場で反対する。

無料でホームヘルパー2級資格が所得できる事業を導入すべき↓**課長**、**「実態把握、実績検証後検討！」**

問 昨年9月から那覇市が一括交付金で導入し、100名募集したところ200名余が応募したという。高齢化時代に適し、雇用拡大にもつながると考えるがどうか。

答 那覇市は、200万円余で講座受講者200名に受講料1人10万円を助成。村内介護現場の人材不足の実態把握、那覇市の実績を検証して導入するかどうか検討。

世界遺産地区座喜味区の景観清掃活動を支援すべき↓村長「すばらしい事をやっている！」

答 3年間で国費670億円の減額。村民の減額については示せない。国保税、介護保険料、後期高齢者保険料、自立医療費などが負担増。就学援助世帯にも影響出る。最低賃金も低くなり、年収200万円にも届かない人が増え、生活保護を受ける人が増える。生



「世界遺産の景観、何を守りどう高めるか」

問 区では、春夏秋冬3回約300戸の代表が県、村道沿い、公園、拝所、川沿などを清掃、婦人会初め20数個の花壇登録で花づくり、老人会の毎月の清掃、子ども育成会、ムートヤー関係者の活動などを続けている。ボランティアである。村は、支援すべきではないか。

生物、植物含めて、水質調査を検討する。

2129 長浜通信所跡(の5辺り)に防犯灯の設置を↓課長、「25年度になる。」

答 地域の方々や関係者に感謝申し上げます。支援は検討する。井泉については、

県道6号から波平土地改良区の道路補修を↓部長、「26年度以降で検討。」



上地利枝子

問一 ①村道波平く残波線の安全対策

答 除草作業と外側線修繕工事については今年度中に予定しております。

問 ②自転車の乗り方指導教育について。

答 嘉手納地区交通安全協会では、事業計画に自転車の安全利用の推進を揚げ、積極的に自転車乗り方教室を行っております。

再問 ライトをつけないで自転車に乗っている子ども達に対する対応

答 学校に情報が寄せられましたら、学級担任を通して児童生徒にはその都度指導をしております。

問 ③早朝、夕方ウォーキングしている方々への安全指導(特に服装)について。

答 老人会の皆さんへは、交通安全教育の中で、反射材を毎年配布し、早朝、夕方には身につけるよう啓蒙活動を行っております。

問 村内不登校生徒15名に対する対応は

答 担任を中心に、スクー ルカウンセラー、心の教室相談員、青少年センター等と連携協力し、本人、保護者に対応しております。個々の状況は違いますが、一例として、教育相談担当教諭及び青少年センター職員の送迎でセンターへの通所ができるようになり、当初2回であったものが、2学期途中から週3回、週4回と通所回数が増え、高校へ合格した生徒もおります。また9月には学校復帰ができた中2の男子生徒もおります。一方、残念ながら登

校復帰しないまま卒業したケースもあります。

評価 スクールカウンセラー、青少年センター、心の教室相談員の果たす役割は大きいと思います。

要望 課題をかかえて卒業した子供達へ継続的なサポートを行っていたきたいと思えます。

問 介護保険の二次予防対策者の数と対応について

答 平成24年度は67人となっており、要介護状態にならないことを目的に、各字公民館周りでがんじゅう教室を開催しております。地域公民館の活用できない方を対象にがんじゅうサロン、閉じこもりがちな高齢者を対象にふれあいサロン、ヒーシャープを週一回開催しております。通所サービス利用が難しい方に対し、保険師が家庭訪問をして必要な相談、運動器の機能向

上の指導をしております。

問 認可外保育園に対する次年度の支援内容は

答 平成25年度も24年度同様継続支援を行ってまいります。

再問 アレルギーをもっている園児に対する対応は、

答 県の情報によりますとミルク代、米代、おかず代おやつ代まとめて給食費として補助を検討しているので独自で対応可能になると思えます。



たくさん食べて大きくなろう！(保育園での給食)



當間 良史

から具体的に事業提案が出されれば調整して行く。

問 一括交付金の今後の見通しは

『沖縄振興特別推進交付金』の使い道は。

問 平成24年度の一括交付金についての総括を伺う

答 全国初の制度として創設された沖縄振興特別推進交付金（一括交付金）は、制度設計や要項制度が遅れたこともあり、タイトなスケジュールでの対応を余儀なくされたが、実施した27の事業は沖縄県及び、本村の発展に寄与するものと考えています。

問 次年度からは、どのように使用するのか

答 村民の声や民間のアイデアを反映させるため、各事業担当課において所管する団体等への説明会や意見交換を行っており、団体等

道による知名度アップによる経済効果は大いにあつたと考えている。

問 今後の課題と地域活性化との関係性は

答 平成24年度、読谷村の配当額は7億5千万、次年度の25年度は6億7千万の配分が決定している。それ以降の具体的な配当額は未確定である。

答 使用施設の良好な状態での維持管理や受け入れ環境の整備を行い、チームにとって魅力のあるキャンパス地になることや、グッズの作成やクーポン券の活用等で、村内飲食店等の利用促進に繋がる取り組みを行うことがあげられる。

『スポーツコンベンション事業』の成果は

問 平成24年度の成果は

答 本村で春季キャンプを実施しているプロ野球セントラルリーグ「中日ドラゴンズ」とサッカーJ1「サガン鳥栖」の本拠地である愛知県名古屋及び佐賀県鳥栖市にて、キャンプ開催時期の誘客促進を目的にプロモーションイベントを実施した。またキャンプ期間中における選手やチーム関係者等の宿泊やマスコミ報



子供たちと交流するサガン鳥栖の選手たち

『フリーWi-Fiスポット（無線LAN基地）』設置

問 観光客が多く利用しているスマートフォンやタブレット型端末向けに、観光地や主要地に種でも利用出来る無料無線LAN基地を設置しては

答 現在豊見城市、南城市座間味村等が独自でフリーWi-Fiスポットを設置していますが、本村では、まだ具体的な議論は行われていない。

今後、他市町村の事例などを参考にしながら検討したい。また、タブレット端末は教育、福祉、防犯、防災等様々な分野で活用が可能である。



當山 勝吉

答 相談がありましたら相談に乗りますが、地主会の事業計画を見て具体的に検討したい。

問 楚辺西地区軍用地跡地の支援として、当局の支援計画を伺います。

答 平成20年4月の定期総会を経て理事長より民間活用による跡地利用計画を推進する意向が示され、現在、まだ地主会より具体的な協議は受けておりませんので今後、地主会の動向を見ながら検討したい。

再問 西地区の磁気探査などの計画があるか伺います。

答 現在、地主会から申し出はありませんが、申し出があれば前向きに磁気探査につきまして、県と調整したい。

再問 里道取扱いに関して西地区の地主会から協力願いがあある場合前向きに検討する考えがあるか伺います。

問 役場庁舎屋上に設置予定の太陽光発電の規模及び電気容量はいくらか伺います。

再問 太陽光発電システム導入による地球温暖化対策の取り組みの成果を伺います。

答 設置規模は20キロワットで年間発電容量は2万7889キロワットを予定しております。

太陽光発電システムについて。

答 西地区の前面に村道伊良波平線が計画され平成25年度に道路整備プログラムを策定する予定であります。

問 楚辺西地区と村道伊良波平線との関係について伺います。

答 相談がありましたが相談に乗りますが、地主会の事業計画を見て具体的に検討したい。

問 楚辺西地区と村道伊良波平線との関係について伺います。

答 西地区の前面に村道伊良波平線が計画され平成25年度に道路整備プログラムを策定する予定であります。

答 20キロワットのCO₂の吸収量は約500坪の森林の吸収量でご理解願います。



メガソーラパネルの計画（楚辺西地区）

問 下水道事業の整備計画の拡大に取り組むとありますが予算は前年比26.1%減であります、予算との整合性について伺います。

答 現在、公共下水道は流域関連公共下水道（伊佐浜処理区）と単独公共下水道（楚辺処理区）の整備を取り組んでおります。平成25年度の予算現額は平成26年度以降の実施計画を行うため工事費が減額になっております。

答 現在、公共下水道は流域関連公共下水道（伊佐浜処理区）と単独公共下水道



山内 政徳

一、太陽光発電システムについて

問 今回庁舎の屋上に設置するとの事ですが内容とその後での取り組みについて。

答 設置規模は20キロワットで年間発電量は2万7000キロワットアワーを予定、その後の予定としては火葬場の中に設置できないか検討しているところです。

二、旧読谷中学校跡地の検討と状況はどうなっているのか。

答 校舎部分につきましては東側あるいは西側にそれ

ぞれ一本道路を通して真ん中のほうに一本道路を通して三本の道路を想定しております。グラウンドと校舎の間の道路シムクガマに向かう道路がかなり狭い状況にあるので拡幅の必要性を感じておりますグラウンドにつきましては排水の課題が見えてまいりました。グラウンドの売却としてはおよそ400坪で三億二千万円くらいを試算しております。

三、新しい胃がん検査の無料実施を。

答 ピロリ菌が胃がんの原因の一つであるという部分は積極的に行っていきたい。自治体でも未普及ということでございますので、積極的に啓蒙推進していききたいと思っております。

四、健康増進センターでのプールの殺菌



村内のプールにαトリノ水を使用しては

問 システムについて現状の方式はどうなっているか。αトリノ水の使用はできないか。

答 次亜塩素ナトリウム液で殺菌を行っておりαトリノ水の生成する装置は約一三〇〇万で高額であり現状の使用は難しい。

中一ギャップの解消のため小中連携についての考えはないか。

答 小中学校の交流会につきましては中学三年生の代表が三月ごろ母校の小学校へ派遣し中学校の紹介をしてもらったり職場体験学習に行ったり中学生に関しても小学校のほうでは学校紹介をしたりして、6年生の不安解消に努めております。

答 これから一生懸命していきたいと思っております。力な殺菌作用を持つαトリノ水は目にしみず、アトピー性皮膚炎の改善にも効果がある。太田区の矢口区民センタープールでも使用



比嘉 郁也

村民健康づくりについて

問 読谷村健康づくり村民会議の取り組み、実績は

答 村民会議は、健康の村実現のための実践団体です。

八二団地で構成しており、健康診断受診、食事の適正摂取、運動の実践、地域の健康づくり支援者の養成、運動習慣及び健康づくり団体の育成等、事業所は健診の実施や役場との情報交換の場は健康づくりにおける体制強化連携を掲げ、受診率の増加やチャレンジデーの実践、歩く健康ゆんたく会議の実施、ラジオ番組での健康づくり啓発等です。



もっと島野菜を食卓に

問 島野菜料理の再評価とその普及促進に取り組んでは

答 沖縄の食材利用の専門家をお招きし、料理講習会を開催します。島野菜等の普及促進に取り組めます。

問 公共施設内の清涼飲料自動販売機の「ガンジューウのシマ」イメージカラーへの取り組みと低カロリー及び低糖質飲料水へ特化に取り組めないか。

答 施設を管理する関係課と会議を行い進めております。

読谷村基本構想の中では、本村のサンゴ礁海域、イノ一のエメラルドグリーンが示されています。

健康づくりサポーターについて

問 その評価と課題について

問 今後の取り組みは

答 現在六三名の皆様で、特定健診受診率や特定保健指導率の毎年の増加の大きな要因のひとつにサポーターの皆さんのお力が大きく、高く評価をいたします。現在は住民健診の受診勧奨を主としておりますが、今後は運動習慣、食生活の改善等の研修会を実施しレベルアップを図り、村民への啓発等を行ってまいります。

小学校での「弁当の日」実践について

問 当局の所見を伺う

問 実施への取り組みと課題は

答 その主旨から教育的にすばらしい点があり、家庭や学校に協力をお願いしていきたいと思っております。

村内における野生(カラス)の生息実態について

問 その所見を伺います。

問 被害実態は

問 その対策は

答 特に座喜味地域で見られ家庭菜園の被害やカラスによるゴミの散乱実態があります。



知花 徳栄

一、 学校周辺の交差点改良について、渡慶次小体育館近辺と古盛南小(旧仲本商店)周辺は交通量も多く、見通しが悪い。改良が必要では。

答 渡慶次小体育館近辺は六差路であることや、古盛仲本商店近辺は角切りが小さいこと等から交差点改良の必要性感じている。

問 改良事業の補助メニューはあるか。

答 県に問い合わせたら補助制度の改正により補助事業として採択されること。

問 改良の計画はあるか。

答 今現在、同意が得られない状況であり計画はございませんが、状況の変化を



見通しが悪く危険な六叉路(渡慶次小近辺)

注視し、同意の見直しがついた時点で検討する。

二、 農道西部連道7号線と村道儀間13号線の間を通る幅広い高さ2m以上の排水路はフタがなく、農道側には防止さくがない。近年、住宅や、アパートが多くなり、子供達の遊び場になっており、危険防止の対応は。

答 排水路は土地改良事業で整備、村道側は安全対策がされているが反対側は防風林帯となっているが、一部の箇所にあずまやがあり、その周辺の安全対策として

転落防止さくが必要だと考えている。

問 イ 同様な危険箇所が宇座のイシグムイ隣にも3ヶ所ある。宇座運動広場沿いの村道と農道防止策は

答 宇座イシグムイ付近や宇座運動広場沿いにある排水路においても現況や周辺環境等を考慮しながら、年次的に財政面も含め検討する。

問 瀬名波地内村道側溝がフタ無しで危険(約40m)、地域よりの要請もあると思うが、

答 瀬名波区より村道2ヶ所のフタ取付の要請があり1ヶ所は取付済み。後1ヶ所は側溝が現場打ちのため未工事の状況だが、通学路でもあり、今後対応する。

三、村内のAED設置状況について。

問 公共施設、公民館の設置状況は、

答 公共施設に24台設置、公民館は渡ヶ次と楚辺が独自で設置、今後は他の公民館も設置の検討している。

問 村民は使用方法が殆んど分らないと思うが使用講習会を多面的にどのようなように行っているか、

答 利用講習会については二ライ消防本部で講習会の積極的な呼びかけを行っている。

問 救急車に頼る村民が殆んどだと思いが、救急隊によるAED使用の年間件数は

答 平成24年度中の救急隊によるAED使用件数は7件ありました。

問 AEDの重要性は

答 心肺停止した人への処置が遅れると1分毎に蘇生率が7~10%低下すると言われ、現場に居合わせた人が早く対応する事が心肺蘇生に関わる大切な要素となる



嘉手莉林春

一 全国一斉！チヤレンジデー二〇一三の取り組みは！

答 今回は島根県雲南市と徳島県阿波市との勝負である。周知徹底を図っていく。

二 中城村が取り組むことになった地域史学習について、本村教育委員会はどうか評価するか

答 中城村同様に、世界遺産や様々な歴史を擁する本村から見ても、その趣旨に

ついでには評価できるものであると考えています。本村では総合的な学習の時間で古里学習をテーマに取り組んでいます。



世界遺産を中心とした村づくりを

ビニでの納付を可能にして貰いたいとの意見についてどのよう評価するか

答 将来に向かっては、コンビニ収納の対応範囲の拡大を図っていく方向で進めていきたい。

四 歴史遺産や御獄、拝所、石垣、赤瓦など各地域の景観資源の保護、継承等無電柱化も含め、積極的に読谷らしい風景、まちづくりに取り組むべきとの意見についてどう評価するか

答 読谷らしい風景づくりは今後のまちづくりに欠かせないものとして考えていることから、国、県や関係機関との連携を図りながら取り組んでいきたい。

五 喜名西原地域への公園設置を急ぐべき！

答 喜名西原地域には街区公園の位置づけがあり今後具体的な計画がなされていくものと考えている。

ボランティア広場

読谷村更生保護女性会

青少年に母の愛を

私たち読谷村更生保護女性会は母親の立場から、罪を犯した人たちが非行に陥った少年の立ち直りを助ける更生保護事業に協力し、地域から犯罪や非行少年を出さないように予防活動を行い、安心安全な明るい地域社会づくりの実践活動を行っています。

7月は、「社会を明るくする運動」強調月間でスローガンは立ち直りを支える地域のチカラです。この運動の推進団体として更生保護女性会は、保護司会・村・学校・PTA・警察署と共に取り組んでいます。

主な活動

①ミニ集会を通して、更生保護について地域の人々に理解と協力を得るための啓蒙活動。

②「ひまわりの会」毎月第3金曜日、午後2時～4時、

社協団体室

子育てやその他悩みのある女性たちへの相談窓口。

③防犯パトロールで、万引きや犯罪予防への協力。

④就労支援としての、箱作りやおやつ作りサポート。(元気サポートウエルよみたん)

⑤矯正施設(少年院・女子学園)に収容されている少年たちを訪問激励し、更生の希望を与える。(誕生会・運動会・盆踊り大会等)

⑥沖縄刑務所矯正展(木工家具・革製品・バッグ・紅型等の展示即売)で各市町村更生保護会員と共にバザーや余興で協力。

⑦刑務所出所後、帰住地が決まるまで就労をサポートし社会復帰に備えさせる更生保護施設「がじゅまの沖縄」へ、会員が年間通して貯めた一円玉を持参し激励訪問。

当会は、平成10年3月に結成、今年度で16年目を迎え、会員は61名です。

会員募集!

資格は問いません。年齢も問いません。ボランティア精神のある方を歓迎します。

読谷村更生保護女性会
会長 比嘉紀子、
事務局 比嘉
(090・1942・0682)



沖縄刑務所矯正展バザー出店

傍聴へ行こう!

平成25年6月定例議会は6月11日(火)からの予定です。

◎議会の日程についてホームページでお知らせしております◎

読谷村公式ホームページアドレス

<http://www.yomitan.jp>

〈お問い合わせ〉

議会事務局 TEL 982-9225